

# 企業・団体ヒアリング報告書

# 目次

---

1 ヒアリング調査概要 .....	1
2 ヒアリング結果 .....	2
3 ヒアリング調査による意見・要望のまとめ .....	15

# 1 ヒアリング調査概要

---

## 1)目的

総合計画(後期基本計画)及び次期総合戦略の策定にあたり、前回の調査に協力いただいた市内の幅広い分野からなる主要な企業や事業所、各種団体等を対象に、ここ4年間の社会情勢の変化における新たな課題等への対応、今後の国の動向や展望に関する意見や甲斐市に求められることなど、アンケート内容や総合戦略に関連する項目を深掘りする形で、両計画における施策の方向性についての基礎資料とすることを目的として実施した。

## 2)選定企業

前回策定時にヒアリングを行った企業の中から、製造業を中心に各業種を代表する企業 11 社、商工会と建設安全協議会の2団体を選定した。

No.	企業・団体名	業種・事業概要
1	株式会社メイコー	電気機械製造
2	株式会社山梨中央銀行竜王支店	金融業
3	株式会社大統	ボウリング、アミューズメント
4	ユニー株式会社アピタ双葉店	小売業
5	株式会社内藤製作所	精密部品金型開発・設計、自動車部品
6	丸久ホテル神の湯温泉株式会社	旅館業
7	農業生産法人黒富士農場	採卵、養鶏
8	株式会社みやさか食品	ドライフーズ製造
9	ユタカ電機株式会社	監視盤、計装盤製造
10	株式会社富士給食	企業給食の受託
11	中星工業株式会社	切削加工、精密板金・溶接
12	甲斐市商工会	地域企業の支援
13	甲斐市建設安全協議会	建設業団体

## 3)調査期間

令和元年9月 13 日(金)～9月 25 日(水)

## 2 ヒアリング結果

企業名	株式会社メイコー
日時	令和元年9月13日(金)13時20分~14時15分
対応者	上野皆男 常務取締役管理部長
聴取者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

### 【事業上の課題】

- ここ数年は主要分野(半導体製造装置・液晶パネル)の成長が期待できない中で、他分野であるエネルギー・環境・医療の顧客を確保できた。今後も、どの分野が成長するのか見極めながら方向性を決めていきたい。
- 社長の世代交代により、従業員に目を向けた経営が変わった。毎月の残業時間を管理し、育児休暇・介護休暇も増えてきており、取りやすい環境ができている。

### 【総合戦略への取り組み】

- 地方の中小企業には行政の施策がマッチしないと感じている。
- 自分たちなりに専門分野にこだわらずに適材適所で採用をしている。求める人材としては、新卒・中途採用ともに全国規模で募集をしており、民間の求人サイトを通じ2名中途採用した実績がある。高校生については、インターンシップを十数年前から受け入れており、県内の工業高校出身者の採用には苦労していない状況である。
- 移住就業支援金については、違うところ、例えば障がい者雇用などに活用したらどうか。
- 外国人材については企業側の負担が大きいため積極的に動いていない。女性及び高齢者雇用については、特に制限はしておらず、仕事がマッチすれば採用している。障がい者も雇用しているが、仕事が無いのが現状である。
- SDGsは初めて聞いた。環境分野については ISO14001 を取得し十分PRできおり、その他の分野においては、税金を納めて貢献できればと考えている。行政で啓もう活動などをしてくれればと思う。

### 【市への意見・要望】

- 十分満足しているのと、これ以上市に期待しても無駄であると感じている。就職説明会も県で実施している。
- 顧客からBCPを求められることがあり、調べるツテがなかったため、企業や工業団地に対する防災・減災対策についてはしっかりやって欲しい。
- 双葉バイパスと中央線ガード下の渋滞はいまだ解消されていない。
- 敷島北部地区については過疎が進んでいるので、例えばクラインガルテンを北部まで広げるなどして、住める土地づくりをしてはどうかと思っている。
- 双葉地区は双葉東小の過密、竜王地区は通学に危険を伴う道があることが気になる。

企 業 名	山梨中央銀行竜王支店
日 時	令和元年9月18日(水)9時00分～9時30分
対 応 者	菊原賢一支店長、古屋透副支店長
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 前回課題に挙げた市の小口融資については、昨年度商工観光課と利率改訂に向けて他市町村の状況などを調査し協議をしたが進展していない。どの程度の実績を目指すのか、市での位置付けが難しいようである。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 山梨大学客員社会連携コーディネーターとして委嘱された行員が、企業の課題と大学の研究テーマのマッチングを行っている。
- 自治体と協定を締結し、東京の店舗を窓口に移住・就業の情報提供を行っており、住宅ローンの金利の優遇などもしている。
- SDGsについては銀行としてできることを取り組んでおり、今年5月に宣言をした。環境を中心に少しずつ関心が高まってきていると感じている。
- 障害者の雇用については積極的に行っており、体制は整っている。女性についても管理職が増えており、期待も高まっている。地元企業への多様な人材のサポートについては現状できていないが、専門人材(プロ人材)に対しては産業支援機構を紹介している。
- 新技術については地元企業への直接的な支援はできないが、省エネや新設備の導入に対する補助金や税制優遇の情報提供や書類作成サポートなどを本部で対応している。

#### 【市への意見・要望】

- 子育て環境は、保育園の施設が新しく充実しており、移住が期待できて発展する地域であると感じている。新しい住民がなじむ地域になってほしい。

企 業 名	株式会社大統
日 時	令和元年9月18日(水)10時00分～10時45分
対 応 者	水上源太郎代表取締役会長 水上信哉代表取締役社長、神能茂総務部長
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 情報誌にアルバイト募集の求人を出しても最近では反応がなくなってきている。
- ボウリング、アミューズメント事業の他に、新事業としてドローンの販売を始めており、すそ野を広げるために一般の方にも興味を持っていただくという段階である。
- 将来的には防災や農業での活用を考えている。操縦するためには資格が必要であり、その人材の育成に力を入れ技術習得を進めていきたいと考えている。ダムや監視や災害対応のため、県企業局・県防災局・消防署などの行政機関、また農業分野についてはJAなどへ営業活動や情報収集、説明に行っている。機体が高いため資金力が必要である。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 情報は出ていると思うが、どこで情報を収集するのか、手段が分からないような状況である。
- 多様な働き手について、人員は現状ギリギリの状態であり、正規・非正規問わず良い人材がいれば活用したいと考えている。高齢の方もいたがなじみずに長続きしない。
- SDGsについては先日の市民ワークショップに代理で参加させてもらった関係で初めて知った。

#### 【市への意見・要望】

- 本業のボウリングにおいて、健康づくりの面からシニア層への普及について市と連携したい。

企 業 名	ユニー株式会社アピタ双葉店
日 時	令和元年9月18日(水)11時00分～11時30分
対 応 者	佐野弘明副支店長
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 正社員、非正規ともに不足しており、人が集まらない状況である。ここ数年時間給が上がってきているもののパートの採用が思うようにいっておらず、店舗の中で人を奪い合うような状態。
- 前回市に貢献したいこととして挙げた地元資本店舗を導入はあまり進んでいない。市内ではないがエレンが入っている。本社で当たっているが市内に限らず県全域でと考えている。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 高齢者、障がい者については積極的に採用していきたいと考えている。定年は75歳まで延長しており、障がい者は1名雇用している。
- 新技術については、売り場の仕事は手数がかかることからあまり進んでいない。自動精算レジを10月から導入予定である。
- SDGsについては知らない。本社の方でも動きはない。

#### 【市への意見・要望】

- 店の足元に人が住んで人口が増えることが一番ありがたい。甲斐市はベッドタウンで若い世代が多い。
- 選挙の投票所としてアピタを活用して欲しい。一部店舗では実施しており、普段来ないお客様も来ていただけるきっかけになるので協力したい。実際伊東市の店舗では、2年くらい前から実施しており、駐車場も広くアクセスがしやすいことで、投票日当日は賑わっているようである。
- 甲斐市は交通の便が良く町にも自然にも近い、公園が多いなど子育てをするには良い場所であると思うので、住みやすさをアピールしてはどうか。
- 信玄堤や甲州街道など歴史もアピールできるのではないか。

企 業 名	株式会社内藤製作所
日 時	令和元年9月18日(水)13時00分~13時35分
対 応 者	内藤健一代表取締役社長
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 前回の課題であったお客様での部品内製化については、技術的な難易度やモデルチェンへの対応、また量的な問題から進展しておらず、継続して受注ができている状況である。
- 生産量が増えていく中での対応として、外観検査人員確保のため非正規従業員が前回よりも増えている。
- 働き方改革により、残業は月40時間以内に規制するように安全衛生委員会により管理するようになり、無駄な残業が減ってきた。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 県内人材を中心に山梨産業短期大学などから毎年1~2名を採用しており、インターンについても工業系高校生の受け入れを行っている。
- 移住就業支援金制度やプロフェッショナル人材事業についてのニーズはない。中途採用は積極的にしておらず、仕事の変動により必要な時は派遣社員等で対応している。
- 外国人材についてはすでに日系ブラジル人やベトナム人を直接雇用し、また実習生も受け入れている。タイミングにもよるが現時点で人員は適正であるのですぐに活用していくつもりはない。
- SDGsは聞きなれない。

#### 【市への意見・要望】

- 中京地区のお客様からは甲斐市は遠いイメージがある。中部横断道によりアクセスしやすい環境にはなってきている。



企 業 名	丸久ホテル神の湯温泉株式会社
日 時	令和元年9月18日(水)15時15分~16時00分
対 応 者	橘田久佳代表取締役社長
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 正社員1日の仕事が見合わないため、今は短時間勤務のパートを求めているが、時間帯(朝晩)と曜日(週末)がマッチしない。
- この業界は拘束時間が長かったが、働き方改革がきっかけとなり、無駄を省く・過剰サービスを減らすなどし、時間と人の軽減につながってくると考えている。その人にあった働き方が必要。
- 外国人客の割合は10%未満。翻訳ソフトなどを活用しているが、個人客が中心でありきちんと下調べをしているので、マナーや言葉等で困ることはあまりない。

#### 【総合戦略への取り組み】

- kaistyle の移住ツアーや大学生を対象とした企業・古民家・農家等をめぐるツアーの中に参加させてもらっている。
- 多様な働き手については積極的に活用していこうと考えている。元気な高齢者や経験者は優遇していきたい。障がい者施設へアプローチし、就業支援もしていきたい。外国人については、以前就職を希望する留学生がいたが、大学卒業後のビザの更新ができず就業につながらなかった。現在は制度が変わり、知り合いの人材派遣会社を通じて派遣は可能であるとのこと。
- SDGsについては知らなかった。

#### 【市への意見・要望】

- 商工会の観光部に昨年から所属している。既存のものを並べてもあまり意味がないので、話題性のあるもの、甲斐市といったら〇〇、のようなお金をかけない目玉があり、地元の飲食店なども活性化できれば良いと思っている。宿泊客のほとんどが甲斐市外へ観光に行く。
- 例えばドラゴンパークで逆バンジー、3kmの流しそうめんなど。
- ふるさと納税からリピーターにつながるケースもあり、ありがたい。

企 業 名	農業生産法人黒富士農場
日 時	令和元年9月19日(木)9時30分～9時40分
対 応 者	向山茂徳会長、向山洋平代表取締役
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 八ヶ岳に新しい農場を作ったことにより、生産現場(鶏舎)が特に忙しく人材が不足している。募集をかけて採用しても仕事が合わずにすぐに辞めてしまう。
- ふるさと納税はここ2年で順調に伸びている。お客様からの反響もあり、雇用も増えた。複数ある寄付サイトへのシステムや人の対応と、クレームをいかに出さないかが現在の課題である。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 新技術では、農場でのドローンの活用、流通管理としてのシステム、特にふるさと納税への対応、生産と販売の両面において進めたい。
- 移住定住に関しては甲斐路苑と連携して取り組んで協力している。山梨に腰を据えて移住して働きたいという人材がいれば採用したいと考えている。
- 外国人材については、以前優秀な人材がいたが、家族の事情により結局帰国してしまい定着しなかった経緯があり、今のところ積極的に取り組む考えはない。
- SDGsについては、掲げていないが既に当てはまることは多く、ハードルは高くないと思っている。
- 養鶏場の見学は病気の関係で夏の見学などに限定され、たくさんのお客様への対応はできない。甲州市の店舗でお客様が鳥に触れ合える動物広場を作ったので、甲斐市でもできたら面白い、魅力的である。
- 都市部の子どもの農山村体験については機会があれば協力できる。
- 月に1回、ここでイベントを開催しており、地元への還元は今後も継続していきたい。

#### 【市への意見・要望】

- 卵の傷のクレームが流通の段階で発生してしまうので、農場までの道の整備をできるだけして欲しい。
- 甲斐市の認知度は低い。国中地域にインバウンドを取り込むために、県全体でも外国人対応に力を入れて欲しい。外国語案内表示や店舗での翻訳アプリの導入など、外国人が楽しめるまち、やさしいまちづくりを進めたらどうか。

企 業 名	株式会社みやさか食品
日 時	令和元年9月19日(木)11時00分～11時45分
対 応 者	宮坂克明代表取締役社長
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 人材不足と雇用のミスマッチ。商品のマッチングは多いが、銀行などが人材のマッチングを支援してくれると良い。
- 地元食材を使った商品は難しいと考えている。他社での助成金を活用した6次産業や、国産品を取り扱ったドライ加工品は長続きせず、赤字となっている。当社でも一部国産品を取り扱っているが、全て現地でドライ加工しており、ここでは小袋にパッキングしているのみである。国産品は原料と工賃が高くなってしまう。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 多様な働き手については積極的に関わっていきたい。かつて障がい者を採用したこともあったが、管理する人をつけたり、間違いが多かったりと問題があり定着しなかった。現状は難しい。
- 外国人材については在留資格制度が変わり、得意先などから情報を収集している。将来的には活用していきたいと考えているが、景気に左右されるので不安はある。
- 理想は近所の女性など、地元での雇用を優先したい。
- 若者の U ターンや地元への定着については、零細企業に何ができるか分からない。今年、来年と営業の社員が定年退職するので、移住就業支援金制度については関心がある。このような制度は多いが、行政の情報発信や周知がうまくできていないのではないかと。
- 新技術について興味はあるが現在のところ活用は考えていない。大手と真逆の隙間を埋めるような業界についてはなかなか当てはまらないのではないかと考えている。
- SDGsについては知らないが、企業イメージ向上のためには今後必要になってくると思う。

#### 【市への意見・要望】

- 昔から生活道路が良くないと感じている。
- 異業種間で情報交換ができれば、転職や人材の確保の面で有効である。
- 工場の移転により成長でき雇用も増えた。他社でも移転できるような場所があれば良い。

企 業 名	ユタカ電機株式会社
日 時	令和元年9月19日(木)13時00分~13時35分
対 応 者	清水明光代表取締役
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 従業員の高齢化が進み、若い人材が入ってこないことが課題である。定年を迎えて再雇用している従業員も多い。ハローワークの募集や、やまなし産業支援機構プロフェッショナル人材を活用しているが、会社を担っていくような軸になる人材がいない。
- 工業系高校からインターンの声がかかれば対応しているが、近年は高校生の就職希望者が少なく、大手企業に就職してしまう傾向がある。ここ4、5年新卒の採用はしていない。
- 工場の移転については、具体的には進んでいない。居抜きで条件合う物件があれば良いと考えているが、補助金や税制面での支援があり、費用対効果が見込めれば新規でも良いと考えている。ここで創業して51年目になり、場所は甲斐市が良いと考えている。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 外国人の活用については、3年くらい位前にベトナムから日本語のできる実習生を3ヶ月間受け入れ、現在はリーダーとして現地において3名体制で設計業務を行っている。現在は受け入れていないが、今後考えていく必要がある。
- 移住就業支援金制度については興味がある。
- SDGsについては知らなかったが調査したい。
- 多様な働き方への対応としては、男性の育休取得はまだ実績はないが、女性については取得しやすい環境になっている。

#### 【市への意見・要望】

- 特に竜王地区は少し中に入ると道が狭く整備されていない。
- 外からの企業誘致をして欲しい。
- 竜王駅発着の「かいじ」の本数が増えると便利になる。

企 業 名	株式会社富士給食
日 時	令和元年9月19日(木)14時30分～15時10分
対 応 者	吉川直樹 代表取締役社長
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 4年前と比較して顧客数にあまり変化はないものの、幼稚園給食は増えている。これ以上増えると工場の移転も検討しなければならない。利便性を考えると甲斐市が良いが、市内、特に竜王地区は広い土地がなく厳しい。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 国が進める移住就業支援制度については興味がある。山梨に人が来ることに関しては歓迎する。3年程前から人材の確保が難しくなっており、特にサービス業への若者の募集が少ない。若者に比べ高齢者の方がバイタリティーがあると感じている。
- 多様な働き手については外国人に関しては積極的には取り組めない。特に接客（吉野家や社員食堂）に関しては言葉の問題がある。留学生などが多少働いている。採用するかは別として、募集はある。高齢者（65歳以上）と女性は多く働いている。
- 働き方改革については、来年を目安にまずは法定労働時間を守ることから取り組みを始める予定である。残業代を含めた給料を求めている従業員や、休みや時間が欲しい従業員など、人それぞれの考え方があるので難しい問題である。
- 新技術への取り組みは特にしていない。取り組むほど人の採用が減っていく。吉野家ではハンディ注文やレジなどの導入は進んでいる。
- SDGsについては知らない。当社では「食料の廃棄を半分に減らす」が該当する。
- 地元の食材（赤坂トマト、黒富士農場の卵、ワインビール）はコストが高く、産業給食には合わないが、葉物や米は県内産を極力使うようにしている。また、幼稚園児の育てた野菜を給食に反映させている。やほたいもは以前イベントで使用したことがあり活用できる可能性はある。高校との連携として、農林高校の生徒が作った野菜の活用はおもしろい。

#### 【市への意見・要望】

- 甲斐市に限らず、学校給食の民間委託は大手が請け負っており、地元業者を優遇できないか。以前は入札に参加していたが現在は断っている状況である。
- 本業は社員食堂なので、市内（敷島・双葉地区）に法人を誘致し、人口・会社を増やして欲しい。

企 業 名	中星工業株式会社
日 時	令和元年9月25日(水)11時10分～11時40分
対 応 者	近藤宏和 代表取締役社長、森賀信雄 総務部部長代理
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 4年前と比較して新規顧客が獲得できたことにより売り上げが伸びている。関東圏や神奈川方面の顧客が相対的に増えたことと、配送を自社トラックから運送会社へ委託したことにより物流や立地に関するデメリットは減ってきていると感じている。
- 半導体業界のトレンド(AI や Iot)に伴い、仕事量が増えると見込まれ、数年後を見越すと人材はやや不足していると感じている。特に、管理職やマネジメント層の人材が不足している。県産業支援機構のプロフェッショナル人材事業を活用し採用しているがまだ足りない。
- 若い人材への技術承継や、業務の拡大に伴う組織のマネジメントが課題である。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 売り上げの増加に伴い、4年ほど前から大卒や専門学校卒の採用を始めており、新卒の採用には困っていない。
- 多様な人材の活用については、オープンに取り組んでいくためには準備が必要である。行政の支援があれば取り組みやすいと思う。
- 現状は身体障がい者1名、派遣会社から外国人2名、再雇用で5名が活躍している。
- インターンについては来年から受け入れできる体制を整えており、会社を知ってもらえれば良いと思う。総合教育の一環としてやまなしの産業が若い世代に魅力を感じてもらえたら良いのでは。
- SDGsについては、企業の社会的責任や環境への取り組みに関して、既に実施しており特に意識はしていないが今後前向きに考えたい。

#### 【市への意見・要望】

- 農地を借用し社員駐車場を整備したが3年くらいかかった。農地転用の手続きに時間がかかってしまうのがネックである。半導体業界はアップダウンが激しいので3年だと遅く、計画を立てにくい。

団 体 名	甲斐市建設安全協議会
日 時	令和元年9月20日(金)8時50分～9時30分
対 応 者	三澤政弘会長(三澤工業社長)
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 公共工事予算の減少に伴い仕事が減り、廃業や倒産により会員数は現在43社である(発足時60社、平成27年52社)。また、人手不足・後継者不足であり、4年前と状況は変わっていないが、知事が変わり県の工事が増えている。災害時の対応もあり建設業が無くなることはないが、新規の大規模な工事は減っており斜陽産業である。
- 事業承継について、世襲の会社が多く後継ぎがないことが課題であり、他人が継ぐことは現実的に難しい。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 人手不足解消のため外国人を雇用している業者もあり、今後活用を検討していかなければならないと考えているが、就労資格や言葉の壁が課題である。高齢者や女性の活用についてはこの業界では難しいと考えている。
- 新技術の導入については専門の会社が考えることである。県の工事では書類の電子化が進みついていけない業者も出てきている。

#### 【市への意見・要望】

- 4年前の市への要望について、災害時、特に除雪時の市職員の体制(各地区における担当者の設置)と重機代金の見直しについては解決済であるが、手続書類の簡素化や工事価格の見直しについては、国や県に準ずるとのことで進展はしていない。
- 信玄堤の活用はできないか。小布施町の北斎や街並み、辰野町のホテルなど魅力あるものを発信できれば良い。
- 地域の担い手の育成や関係人口の創出については、会員が集まった時にアイデアを聞いてみたい。

団 体 名	甲斐市商工会
日 時	令和元年9月 20 日(金)15 時 00 分～15 時 30 分
対 応 者	中村己喜雄会長、河野行秀事務局長
聴 取 者	秘書政策課総合政策係 相川主査、山本

#### 【事業上の課題】

- 地域企業のみならず商工会においても人材が不足している。また高齢化により後継者がおらず、事業承継も課題である。商工会としては経営指導員5名体制で支援している。
- その中でも甲斐市の建設業においては、約8割で後継者がいる状況であり感心することである。
- 甲斐市においては創業が多いことと、未加入業者への加入を促すことによって微増ではあるが会員数を延ばしている。

#### 【総合戦略への取り組み】

- 移住就業支援制度については、今年の振興会議において説明を聞いた段階であり、商工観光課と連携する中で今後対応していきたい。
- 多様な人材の活用については商工会として特に支援していない。助成金等で問い合わせがあれば対応しているが基本的には各企業が対応している。
- IT化など新技術の取り組みについては、全国商工会連合会における汎用ウェブサイトの作成支援と、補助金申請の支援等を行っている。その他講習会や、商工会からの提案、県連合会での専門家などで対応している。
- 消費税増税に伴うレジの入れ替えやキャッシュレス決済の導入についても補助・支援しているが、富士河口湖などの地域と比較すると積極性に欠けると感じている。
- SDGsについては商工会としては動きや情報はないが、企業によっては取り組みを進めているところもあり、今後取り組むべき課題であると考えている。

#### 【市への要望】

- 甲斐市は交通網や買い物の利便性、気候・風土が良く住みやすいから人口が増えている。リニアや中部横断道の開通に伴い通勤圏が拡大するので、まずは居住・定住する施策が重要であると考えている。
- 観光地がないため、市民の憩いの場・市外からも人を呼べる拠点施設、また来たいと思える施設を整備できれば、間接的に町も賑わうと思う。
- 住んでみたいまち、住んで良かったまちにしたい。



### 3 ヒアリング調査による意見・要望のまとめ

企業・団体名	意見・要望
株式会社メイコー	SDGsの啓蒙活動
	企業に対する防災・減災対策の情報提供
	敷島北部地区の活用 (クラインガルテンの拡充など住める土地づくり)
	竜王地区の道幅が狭い
山梨中央銀行 竜王支店	市の小口融資の利率見直し
	新しい住民がなじむ地域
式会社大統	行政分野へのドローンの活用
	健康づくりとしてのシニア層への普及についての連携
ユニー株式会社 アピタ双葉店	人口の増加(住みやすさのアピール)
	投票所として店舗の活用
	歴史(信玄堤、甲州街道)のアピール
丸久ホテル神の湯温泉 株式会社	話題性があり目玉となるものの創出(お金をかけず)
農業生産法人 黒富士農場	都市部の子どもの農山村体験
	農場までの道の整備
	外国人が楽しめるまち、外国人にやさしいまちづくり (外国語案内表示、翻訳アプリなど)
株式会社 みやさか食品	人材のマッチング
	行政の情報発信と周知方法
	生活道路の環境改善
	異業種間での情報交換
	工場移転場所の確保
ユタカ電機株式会社	竜王地区の道路整備(道幅が狭い)
	外からの企業誘致
	「かいじ」の増発

企業・団体名	意見・要望
株式会社富士給食	学校給食の民間委託について地元業者への優遇
	法人の誘致(人口・会社の増加)
中星工業株式会社	多様な人材活用に向けての支援
	農地転用手続きの迅速化
甲斐市 建設安全協議会	魅力のあるものの発信(信玄堤の活用など)
甲斐市商工会	居住・定住する施策(リニア・中部横断道)
	市民の憩いの場、市外から人を呼べる拠点施設の整備